

平成 18 年度 学部入学式告辞

新入生諸君 , 入学おめでとう . 香川大学の在學生と教職員は諸君らを心から歓迎します .

大学に入って今までの生活と大きく異なる点は , 諸君らにとって大学は基本的に自主性と自己責任の社会です . 香川大学には諸君らの勉学や大学生活を支援するために教職員がおり , それに加えて支援するシステムや設備がたくさんありますが , 諸君ら自らが積極的に動かなければなりません . 大学は諸君らをおとなとして扱います . 今までのように先生の指示や指導に従って動くのではなく , 今日から諸君らも品位と良識を持ったおとなに生まれ変わって下さい . 父母の方々にもお願いします . お子様も品位と良識を持ったおとなに生まれ変わるための支援をお願いします .

もう一つ違う点は , 大学で養う能力は高校までとはっきり違います . 高校までは , まず問題がそこにあり , その問題を解く方法を学び , そのための訓練を重ねてきたはずで . そこには必ず正解や模範解答がありました . しかし , これから諸君らに養ってほしい能力は , 問題を解く能力だけではありません . もっとも養ってほしいのは問題や課題を見つけ出す能力です . 問題を見つけ出す能力をそれぞれの専門知識と重ね合わせながら磨いてほしいのです . 問題を見つけ出したり , 問題を解く能力などを総合して課題探求能力と呼んでいますが , その課題探求能力と専門知識の修得が大学卒業までに求められています .

諸君らの中には平成生まれの人もいるでしょうが , いずれにしても大部分は 10 代の若者です . 若者の特権は挑戦できることです . 若いということは人間社会での経験も少なく , いろいろなことを知らないことにも通じます . したがって , 挑戦す

れば失敗することも多いでしょう。しかし、挑戦した若者の失敗には我われおとなたちは寛大であるべきであると思っています。私は、自己を過小評価して楽をしている若者より、自己を過大評価して挑戦し、失敗している若者に賞賛を送りたいと思います。自己を過大評価してもよいのが若者の特権であり、その特権を最大限に活用し、失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジしてもらいたいと願っています。たとえチャレンジの結果が必ずしも期待どおりでなかったとしても、チャレンジから得られる収穫物は将来にたいへん有益であると確信しています。

もうひとつ諸君らにぜひしてもらいたいことがあります。今までは、よく気の合う友達や家族とだけ付き合っただけであればよかったです。よく気の合う友達や家族というのは、似通った者同士であり、その中にいれば一見心地よいかも知れませんが、自己の形成や発達にはその中だけの生活では不十分です。自分と違う者との交流が、自己の確立や他人への尊敬には重要であると思います。そのような意味から、諸君らはぜひ同じ学部内の学生とはもちろん、他学部の学生とも積極的に交流してください。専門が違えばものの見方が違います。専門の異なる人たちとの交流は、視野を広げるのにたいへん効果的であり、諸君らの将来にとってとても大切です。また、学内、国内に限らない多くの人たちとの交流は、異なる人格や文化、心を持った人間を尊重し、お互いの信頼関係の構築に必要なものを学ばせてくれるはずです。

ある人が人生に必要な4点セットとして、次のようなことを言っています。

- 人生の別れがたい恋愛相手と、
- 一人の頼りかきのある親友と、
- 一個の忘れがたい思い出と、
- 一冊の繰り返し言及する図書。

私は、学生時代を終えるまでに幸いにも4点セットを手に入れることができました。
私は、諸君らが本学での学生生活を通じて、豊かな教養と高度な専門知識を備えた
「品位と品格ある香川大学人」に育って頂けることを願っています。

平成18年4月5日

香川大学長 一井 眞比古